

今年もお願いいたします 「米の全量全袋検査」

県内で生産されたお米は、自家用食品の簡易測定ではなく、自家用の飯米・縁故米も含めて、すべての米袋に検査用バーコードラベルを貼って、放射性物質の全量全袋検査を受けてください。

皆様の、御理解と御協力をよろしく申し上げます。



平成28年産米検査のラベルは、紫色です。

- 平成24年産米以来、放射性物質の吸収抑制対策の実施や米の全量全袋検査への取組みにより県産米の安全性を確保し、消費者や米を利用する事業者の皆さんに県産米への安心感を持っていただくことで、円滑な流通が確保されるよう取り組んでまいりました。米の生産に関わる私たちは、この取組みを、今年産米においても気を緩めずに続ける必要があります。
- 「自分の米はこれまで安全だったから」とか「自分の家と親戚だけで食べる米だから」であっても「検査は必要です」。全ての米で全量全袋検査を受けてください。
- この検査は、私たちが「すべての米を検査している」ことで、消費者の信頼を得ることができます。

検査の対象は「すべての米」です。

- 出荷・販売する米はもちろんですが、自家用の「飯米」、親戚などに配る「縁故米」、販売される「ふるい下米」など、**県内で収穫されたすべての米が検査の対象です。**
- **飼料用米も全量全袋検査の対象です。すべて検査を受けてください。**
- **基準値を超える危険性は低くなってきていますが、ご自分で安全だと判断せずに、必ず、全量全袋検査を受けて検査済ラベルが貼られた米袋だけを出荷・販売したり、「飯米」「縁故米」として利用するようお願いします。**

「バーコードラベル」は確実に貼って下さい。

- 28年産米の検査で使用するバーコードラベルは、後日、地域協議会等から配付されますので、検査を受けるまでにすべての米袋に貼り付けてください。
- **もし、検査用バーコードラベルが届かない場合は、必ずお住まいの市町村やJAにお知らせください。**また、「どうやったら検査を受けられるの?」「どこに米を運ばいいの?」などのお問い合わせも、お住まいの市町村やJAにお問い合わせください。
- なお、28年産米の検査には、**24年（白黒）、25年（ピンク色）、26年（緑色）、27年（オレンジ色）**の各年産米用のバーコードラベルは使用できません。

検査結果を公開しています。

項目名	検査結果
識別番号	1601-123-4567-89
検査結果	測定下限値未満
測定下限値	25ベクレル/kg
検査年月日	2014/00/00
検査機器の種類	(連続型)〇〇式シンチレーション検査器

↑検査結果の公開イメージ

- **全量全袋検査の結果については、米袋の識別番号ごとに下記のホームページで公開します。**
<https://fukumegu.org/ok/kome/>
- 検査結果の公開は、県産米の信頼性確保の上で不可欠ですので、御理解をお願いいたします。なお、検査結果の公開に賛同されない方は、下記のお問い合わせ先に御連絡をお願いいたします。連絡をいただいた方の検査結果は公開いたしません。

このお知らせについてご不明な点は、お住まいの市町村、ふくしまの恵み安全対策協議会、県内の各農林事務所農業振興普及部・農業普及所、または県農林水産部水田畑作課へお問い合わせください。

福島県農林水産部水田畑作課 電話：024-521-7360・7369
ふくしまの恵み安全対策協議会 電話：024-573-0873